



2020.1.25



岡本 芳次

日本語教師

情報ベンチャー協同組合で日本語教師をしている岡本先生より、日本語を教えるときに気をつけている点や今後の展望等を教えていただきました。

日本語教師を目指したきっかけ

かけ

前の会社に務めていたとき、外国人に日本語を教える機会があり、日本語教師の仕事に興味を持ちました。そして、前職を定年退職した後、教えるためのテクニクを本格的に勉強したいと思い、講師育成教室に半年ほど通うことを決めたのです。そこで模擬授業などを行いながら、指導法を体系的に学びました。私は、人と接することや、新しい出会いを楽しめる性格なので、非常に充実した日々を送っています。もっと早くこの仕事を知っていたら、より人生を謳歌できたのに……(笑)。

1日の流れ

まず、会話練習でウォーミングアップを行い、午前中は文法を扱います。昼食をとり、午後のはじめはラジオ体操です。その後、新しい語彙を覚えられるようなゲームを用いて、ウォーミングアップを行います。午後の後半は、文法の残りを消化し、最後に、翌日に向けて日記や予習復習の宿題を出します。一日中喋ります仕事なので、慣れるまでは苦勞しました(笑)。また、立ち仕事のため体力も必要です。

教えるときに気を付けていること

実習生の場合は、以前教えていた留学生とは違い、「聞けること・話せること」が大切です。そのため、教えるときは大げさな動きを交えながら、「どの言葉を・どのようなどきに・どのような表情で使うのか」を、